

(記載例)

申請する建築物が複数ある場合、
優先順に申請番号を付すこと
例：申請番号第1号、申請番号第2号

(別記第1号様式)

道産木材住宅建設促進事業に係る補助金交付申込書

(申請番号第1号)

令和7年〇月〇〇日

一般社団法人北海道ビルダーズ協会
代表理事 菊澤 里志 様

郵便番号・住所 〒〇〇〇-〇〇〇〇
北海道〇〇市〇〇条〇〇丁目
会社名 株式会社△△△△
代表者名 代表取締役 □□□□ 印

連絡先(電話) (012) 345-678

記

1 工事に関する事項

(1) 工事の区分 ※該当する項目を○で囲んでください	新築 ・ 改築 ・ 増築	
(2) 建設箇所(住所)	北海道〇〇市〇〇条〇〇丁目	
(3) 工期	令和7年9月1日 ~ 令和7年11月30日	
(4) 工法 ※該当する項目を○で囲んでください	軸組工法(在来工法) 桝組壁工法	
(5) 予定木材利用量	25 m3 (※建築物全体の木材利用量)	
うち道産木材の利用量 (ア)~(ウ)の合計	15 m3	樹種
(ア) 製材等 (構造材、羽柄材、造作材等)	13 m3	カラマツ
(イ) 内装材	m3	
(ウ) 外装材	2 m3	道南杉
(6) 延床面積	120 m2 (※増改築の場合は、増改築する部分)	
(7) 1 m2あたりの道産木材使用量	0.125 m3/m2 (道産木材の利用量/延床面積)	
(8) 道産木材の納入業者(計画)	△△株式会社	

2 建築物の施主 ※建築物の施主とは、建設工事請負契約書の発注者(施主)をいう。

建築物の施主	氏名	□□□□
	現住所	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇市〇〇条〇〇丁目

3 優先採択に関する事項

優先採択項目	回答欄	備考
1 道産木材の利用量	1 5 m3	※内外装材は m3 換算し合算
2 道産木材の利用率	6 0 %	※内外装材は m3 換算し合算
3 HOKKAIDO WOOD HOUSE 認定制度の活用 ※該当する項目を○で囲んでください	(1) HOKKAIDO WOOD HOUSE の推奨基準 (申請中・予定を含む) (2) HOKKAIDO WOOD HOUSE の認定基準 (申請中・予定を含む) (3) 申請する予定はない	
4 森林認証材の活用 ※該当する項目を○で囲んでください	(1) している (予定を含む) (1) m3 (2) していない (予定はない)	※FSC、SGEC 等の森林認証材 (道産木材) ※実施した証拠書類の写しを 実績報告書に添付していただきます
5 道産木材の PR 手法 ※該当する項目を○で囲んでください	(1) 見学会の開催 (2) 足場幕の設置 (3) ホームページ、SNS での掲載 (4) その他 () (5) なし	※対象住宅について実施予定 の PR 手法を記載 ※実施した証拠書類の写しを 実績報告書に添付していただきます
6 「北方型住宅」制度の活用 ※該当する項目を○で囲んでください	(1) 北方型住宅 ZERO (2) 北方型住宅 2020 (3) 活用する予定はない (基準を満たさない)	※住宅ラベリングシート、または 基本性能確認証を実績報告書に 添付していただきます
7 道内市町村事業との連携 ※該当する項目を○で囲んでください	(1) している (予定を含む) 市町村名 (旭川市) 事業名 (令和 7 年度旭川市地域材 活用住宅建設補助金) (2) していない (予定はない)	※道内の市町村が行う住宅建築 支援事業を活用している場合は その市町村名と事業名を記載
8 フラット 35 地域連携型 (地域活性化) の利用 ※該当する項目を○で囲んでください	(1) している (2) していない	※子育て支援・空き家対策分野は 対象外

< 添付書類等 >

- (1) 申込同意書 (別記第 2 号様式)
 - (2) 優先採択事項における以下の項目が確認できる書類 (平面図、矩計図、立面図、パース図、積算内訳書、仕様書等)
 - ・道産木材の利用量
 - ・道産木材の利用率
 - (3) 建設工事請負契約書の写し
 - (4) 建築基準法に基づく確認済証の写し (ただし、建築確認が不要の場合はこれに代わるもの)
- ※ (3) 及び (4) について、交付申込時に提出できない場合は、交付申請時に提出していただきます。提出がない場合は、補助金が交付されないことがあります。